

## 2020 賃金闘争スタート！！

今月、衝撃の報道がありました。

東京ディズニーランドと東京ディズニーシーを運営するオリエンタルランドが新型コロナウイルスの影響で業績が悪化していることから、人件費の大幅な削減を打ち出し、およそ4000人いる正社員と嘱託社員を対象に、冬のボーナスを7割削減することを発表した。

オリエンタルランドに限らず、新型コロナウイルス感染症による業績悪化を理由に、民間企業は次々にボーナスカットや減額などを発表しています。

私たちの賃金闘争も新型コロナウイルス感染症の影響で、これまでに経験したことのない交渉環境下でのとりくみとなっています。今年度の国家公務員給与・賞与等にかかわる人事院勧告にむけた職種別民間給与実態調査は、例年より2カ月遅れて、ようやく6月29日から実施されました。民間企業の2020年夏の賞与支給は2.22月分となり、前年度に比べ約0.2月分の落ち込みとなりました。このことから、人事院から国家公務員給与・賞与等への厳しい勧告があることが予想されます。

私たち地方公務員の給与・賞与は、民間企業の給与実態調査を経た国家公務員の給与・賞与に大きく影響されます。この間、湘南教組は、新型コロナウイルス感染症の影響で例年になく大変厳しい状況にある給与・賞与における民間給与の実態と、新型コロナウイルス対策によるさらなる財政難等をうけて政治判断により一方的に臨時特例的な賃金削減が行われることがないように、現場の声を人事院へ届けるべく「2020人勧期ネット署名行動」を実施しました。(48万3,379筆集約)

この署名と合わせて県人事委員会「2020勧告期の要求実現署名」についても各分会でとりくみ、大変厳しい環境に負けず現場で奮闘する仲間の想いを届けるべく、県労連、神教組に結集し、人事委員会勧告期要求に向けてとものにがんばりましょう。

1. 署名対象 全組合員およびその家族、職場の教職員等
2. 集約期日 10月14日(水)までに湘南教組書記局へお届けください！

## 教職員定数改善とセットでの少人数学級実現を！

教育再生実行会議のワーキンググループが9月8日に開かれ、「少人数によるきめ細かな指導体制の計画的な整備や関連する施設設備等の環境整備を進める方向」を打ち出しました。

9月16日には首相が代わり、新内閣で再任した萩生田文科相は「教育改革の柱」として「少人数学級の拡充」を図るとしています。しかし、少人数学級の拡充においては、定数改善の議論がなされていない現状があります。

少人数学級の実現は湘南教組がこれまで求めてきたことですが、同時に少人数学級のための教職員定数の改善が必要です。

日教組、神教組を通して、教職員定数の改善を要求していきます。

## 小学校高学年教科担任制！？専科拡充

中教審は、2022年度をめぐり、小学校高学年から教科担任制の実施を検討しています。

従来から専科指導が行われている音楽科、図画工作、家庭科、体育科に加え、外国語、理科、算数科等、また、地域の状況も配慮し、義務教育9年間を見通した教育課程を支える指導体制を構築するための目的で実施・検討されています。GIGAスクール構想による個別最適化された学び、コミュニティ・スクール、いじめや不登校等の課題を踏まえ、今後、対象学年を小学校高学年だけでなく児童の発達段階を考慮しながら、実施、検証・検討していくとされています。

今回の中教審の議論は、あくまで専科拡充ありきのものであり、中学校現場での教科担任制をイメージしたものではありません。これまで、子どもの発達段階を重視し、小学校においては、学級担任制のもと、専科教員が配置されてきた現状をふまえつつ、湘南教組は、引き続き豊かな学びを保障する観点から子どもの実態にあった専科教員の拡充を求めています。

## 部活動改革の変化を注視

9月1日、学校における働き方改革推進本部において、超勤縮減のための部活動のあり方に対する今後の方針が議論されました。改革の方向性として、2023年度以降、休日の部活動を段階的に地域移行する方針が出されました。具体的な案として、休日の指導や大会への引率を担う地域人材の確保、保護者による費用負担、地域自治体による減免措置等と国による支援、拠点校（地域）における実践研究の推進とその成果の全国展開や地方大会の在り方の整理などが提示されました。

今回の案は、働き方改革のみの視点で議論されているので、地域人材が本当にいるのか、平日（学校）と休日（地域）との連携にかかる負担が働き方改革に逆行することにならないのか、生徒にとってよりよい部活動となるのか等の課題があります。

部活動改革については、働き方改革の視点だけでなく、学校教育における部活動のあり方、生徒にとってのよりよい部活動とは等、さまざまな視点にたった議論が必要です。湘南教組は、部活動については、教職員、生徒、保護者、地域住民等、さまざまな観点に立った丁寧な議論が重要であるという立場から、日教組、神教組に意見反映していくとともに、これらの動きに注視していきます。

## 「ゆたかな私学教育の実現を求める

### 私学助成に関する要請署名」のお願い

湘南教組は、すべての子どもたちに豊かでいきとどいた教育を実現するため、教育予算の確保、特に、義務教育費国庫負担制度の存続と教職員定数改善をめざして、とりくみをすすめています。さらに、保護者負担の軽減をはかるため、私学助成の拡充のとりくみを行っています。全高校生の32%、全大学生（4年制）の74%が通うなど、私学は、重要な役割を担っています。こうした私学の振興を推しすすめる上で、私学助成の拡充は不可欠となっています。そのような状況の中、日教組は、私学助成の増額をめざして100万筆を目標に署名運動を展開し、集約した署名を内閣総理大臣および文部科学大臣に提出します。つきましては、各分会の積極的なとりくみをお願いします。

1. 署名対象 組合員およびその家族、職場の教職員等
2. 署名用紙 1枚5名連記のものに1人3筆以上（※余白のないようにしてください）
3. 集約期日 10月14日（水）までに湘南教組書記局へお届けください！

# 安倍政権から菅政権へ！国民のための改革のゆくえは。。

9月16日、菅義偉内閣が発足しました。安倍前政権の路線を継承し、20人の閣僚ポスト中、初入閣は5人に留まり、8人が留任するなど、新官房長官となった加藤勝信氏や行政改革担当大臣の河野太郎氏など3人が横滑りする顔ぶれとなりました。16日の就任記者会見で、デジタル庁の新設宣言や「既得権益を打破し、規制を改革する、国民のために働く内閣」と述べるなど『国民のための改革』をすすめていこうとする姿勢が見られました。

湘南教組は、辺野古新基地建設問題の対応や憲法改正に対する姿勢、安倍政権が生んだ「モリカケサクラ」などの残された多くの疑惑に対する国民への説明などに、菅政権がどのような見解を示すのか注視しつつ、とりくみを続けていきたいと考えます。

## 執行部のつがやき

先日、友達から組合費5,100円は高いからどうにかならないかと相談を受け、月々5,100円という価値について考えてみた。毎月5,100円あれば何ができるか。。。

- ① 3大キャリアでなければ携帯代を払うことができる
- ② 猛暑（極寒）でなければ電気代（ガス代）を払うことができる
- ③ 掛け捨ての保険代を払うことができる
- ④ 飲み会1回分を払うことができる

などなど、様々なことが5,100円あればまかなえると思う。



逆に、月々5,100円稼ぐにはどうしたらよいか考えてみた。。。

- ① 土日の部活動を月2回行う（中学校）
- ② 平日の部活動を月10回行う（中学校）
- ③ 投資で200万を配当3%の株を保持している

書き出して考えてみると、5,100円でできることはたくさんあり、稼ぐことは難しいと思えてくる。また、高いと思っている人は5,100円払った価値分を得ていないと感じているからだと思う。

しかし、私は、組合費5,100円は高いと思わない。そこに5,100円分の価値があると感じているからである。価値がないと感じる人には難しい話かもしれないが、是非執行部にきて組合費がどのように使われていて、どのような効果をもたらしているかを実感してほしい。

友達の相談を解決するには、何かを削減しない方法だと、（正規）組合員数を増やすのが現実的だと思う。新規・再帰加入者500人増えれば、組合費が安くなるかも。。。（´ω`）っ



### 神奈川県教職員スポーツ交流会（球技の部）今年度は延期



今年度の「神奈川県教職員スポーツ交流会」を神奈川県教職員組合と連携して、計画をすすめてまいりました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、協議した結果、今年度の実施は見合わせ、来年度、改めて球技の部の開催を検討していくこととなりました。

今年度参加を予定していた方、来年度の参加を是非お待ちしております。



## 母と女性教職員の会 来年度に延期

11月23日(月)に寒川町民センターにて開催予定だった「第50回 母と女性教職員の会」は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、延期とします。そこで、来年度「第50回母と女性教職員の会」の開催となります。

## 人間ドック・教員免許更新講習の補助金申請を忘れずに!

振興会ハンドブック

・P.85に人間ドック受診費用補助請求書 ※領収書が必要です。

・P.86に教員免許状更新費用等補助請求書

※更新講習がすべて終了した年度末までに請求してください。

添付書類は必要ありません。

の様式があります。申請書にご記入の上、事務職員さん経由で県の福祉振興会に提出をしてください。



## 組織化情報 めざせ! 100%加入!!

湘南3市1町では2020年度166名の教職員が新たに採用され、湘南教組の重要課題として新採用・転任採用者の組織化にとりくんでいます。各分会で積極的に組合加入の働きかけをすすめるとともに、地域協議会等を通して分会と執行部が連携をとる中で加入促進をはかってきました。7月から9月末まで新たに、新採用小学校2人、中学校2人、転任採用4人の8人が加入しました。

新採用者について報告しましたが、7月から9月末までに加入者が多かったのは、臨任・非常勤の方です。臨任7人、非常勤3人が新規加入しました。

湘南教組は、臨任・非常勤等、非正規雇用の処遇改善にも尽力してきました。臨時的任用職員の空白期間解消や給料の上限撤廃など近年も成果をあげています。これからも、このとりくみをすすめ、より働きやすい職場をつかっていきたいと思っています。一緒に働く仲間として、組合の活動を理解してもらい、もっと多くの人に組合に参加してほしいと思っています。また、これから正規職員として働く希望を持たれている方に、組合の魅力を伝えることを各分会にお願いしたいと思います。夢ある職場を創造していけるのは、わたしたち組合員です。

## 湘南教組 当面の活動予定

日程	予定	開始時刻	場所	対象
10月6日(火)	全体交渉・各課交渉 (茅ヶ崎)	13:30	茅ヶ崎市役所	執行部・専門部
10月20日(火)	各課交渉(鎌倉)	14:00	商工会議所	執行部
10月22日(木)	地域協議会(茅ヶ崎)	16:30	湘南教育会館	分会長
	各課要求(藤沢)	15:30	藤沢市役所	執行部
10月26日(月)	各課交渉(鎌倉)	14:00	商工会議所	執行部
10月30日(金)	全体交渉(寒川)	15:45	町民センター	執行部
	地域協議会(鎌倉)	16:30	鎌倉芸術館	分会長